

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

| | | |
|--------------|---|-------------------------------|
| 商品分類 | 追加型投信／海外／株式 | |
| 信託期間 | 5年間（2013年2月28日～2018年2月27日） | |
| 運用方針 | 信託財産の成長をめざして運用を行ないます。 | |
| 主要投資対象 | ベビーファンド | ダイワ・ライジング・タイランド株式マザーファンドの受益証券 |
| | ダイワ・ライジング・タイランド株式マザーファンド | タイ企業の株式（DR（預託証券）を含みます。以下同じ。） |
| マザーファンドの運用方法 | <p>①主として、輸出や投資、消費の拡大に注目して、タイ企業の株式に投資し、値上がり益の獲得を追求することにより、信託財産の成長をめざします。</p> <p>②ポートフォリオの構築にあたっては、次の方針で行なうことを基本とします。</p> <p>イ. 時価総額や流動性等を勘案して投資対象銘柄を選定します。</p> <p>ロ. 投資対象銘柄について、ボトムアップ・アプローチに基づいて個別企業の分析を行ない、次の銘柄を組入候補銘柄として選定します。</p> <p> i. 高い利益成長が期待できる銘柄</p> <p> ii. 収益力等に対して株価が割安と判断される銘柄</p> <p>ハ. 株価バリュエーション、業種分散、銘柄分散等を勘案し、ポートフォリオを構築します。</p> <p>③外貨建資産の運用にあたっては、ダイワ・アセット・マネジメント（シンガポール）リミテッドに運用の指図にかかる権限の一部を委託します。</p> <p>④株式の組入比率は、通常の状態では信託財産の純資産総額の80%程度以上に維持することを基本とします。</p> <p>⑤為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。</p> | |
| 組入制限 | ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率 | 無制限 |
| | マザーファンドの株式組入上限比率 | |
| 分配方針 | <p>分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。</p> | |

当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行ないます。ファミリーファンド方式とは、受益者からの資金をまとめてベビーファンド（当ファンド）とし、その資金を主としてマザーファンドの受益証券に投資して、実質的な運用をマザーファンドで行なう仕組みです。

ダイワ・ライジング・タイランド株式ファンド

運用報告書(全体版)

第8期

(決算日 2017年2月27日)

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「ダイワ・ライジング・タイランド株式ファンド」は、このたび、第8期の決算を行ないました。

ここに、期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL 0120-106212
(営業日の9:00~17:00)

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

<3829>

最近 5 期の運用実績

| 決算期 | 基準価額 | | | MSCIタイ指数 (配当込み、円換算) | | 株式 組入 率 | 株式 先比 物率 | 純資産 総額 |
|--------------------|--------|------------|-----------|------------------------|-----------|---------------|----------------|-----------|
| | (分配落) | 税込み 分配金 | 期中 騰落率 | (参考指数) | 期中 騰落率 | | | |
| | 円 | 円 | % | | % | % | % | 百万円 |
| 4 期末 (2015年 2月27日) | 10,949 | 550 | 10.7 | 12,766 | 12.7 | 95.4 | — | 18,523 |
| 5 期末 (2015年 8月27日) | 8,668 | 0 | △ 20.8 | 10,066 | △ 21.1 | 91.3 | — | 12,126 |
| 6 期末 (2016年 2月29日) | 8,488 | 0 | △ 2.1 | 9,776 | △ 2.9 | 94.4 | — | 10,113 |
| 7 期末 (2016年 8月29日) | 9,277 | 0 | 9.3 | 10,757 | 10.0 | 92.3 | — | 9,351 |
| 8 期末 (2017年 2月27日) | 10,110 | 100 | 10.1 | 11,711 | 8.9 | 96.1 | — | 7,931 |

(注 1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注 2) MSCIタイ指数 (配当込み、円換算) は、MSCI Inc. の承諾を得て、MSCIタイ指数 (配当込み、タイ・パーツベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。MSCIタイ指数 (配当込み、タイ・パーツベース) は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。またMSCI Inc. は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

(注 3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注 4) 株式先物比率は買建比率 - 売建比率です。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 期末の基準価額は分配金込みです。

基準価額・騰落率

期首：9,277円

期末：10,110円 (分配金100円)

騰落率：10.1% (分配金込み)

基準価額の主な変動要因

マザーファンドを通じてタイ株式に投資した結果、米国大統領選挙後の投資家心理の改善や新興国からの資金流出懸念の後退などがプラス要因となりました。為替についても、米国金利の上昇や米ドル高を受けて円安タイ・パーツ高が進んだことがプラス要因となりました。これらの結果、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ・ライジング・タイランド株式ファンド

| 年 月 日 | 基 準 価 額 | | M S C I タイ 指 数 (配 当 込 み、 円 換 算) | | 株 組 比 | 式 入 率 | 株 先 比 | 式 物 率 |
|-----------------------|---------|-------|--------------------------------------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | | 騰 落 率 | (参 考 指 数) | 騰 落 率 | | | | |
| (期 首) 2016年 8 月 29日 | 円 | % | | % | | % | | % |
| | 9,277 | — | 10,757 | — | | 92.3 | | — |
| 8 月 末 | 9,370 | 1.0 | 10,829 | 0.7 | | 94.1 | | — |
| 9 月 末 | 8,886 | △ 4.2 | 10,286 | △ 4.4 | | 95.1 | | — |
| 10 月 末 | 8,973 | △ 3.3 | 10,402 | △ 3.3 | | 95.4 | | — |
| 11 月 末 | 9,528 | 2.7 | 10,874 | 1.1 | | 95.0 | | — |
| 12 月 末 | 10,123 | 9.1 | 11,563 | 7.5 | | 96.0 | | — |
| 2017年 1 月 末 | 10,335 | 11.4 | 11,902 | 10.6 | | 93.7 | | — |
| (期 末) 2017年 2 月 27日 | 10,210 | 10.1 | 11,711 | 8.9 | | 96.1 | | — |

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2016. 8. 30 ~ 2017. 2. 27)

■ タイ株式市況

タイ株式市況は上昇しました。

タイ株式市況は、期首より、米国の利上げや国王の健康状態への懸念を受けた利益確定の売却により下落して始まりました。2016年9月中旬には底値買いの動きから反発しましたが、10月に入ると国王の健康状態への懸念が再び高まり急落しました。国王が崩御した後は、心配されていた混乱はなく、服喪期間中の消費減少も想定されていたほど深刻にはならないとの見方により、急速に買い戻されました。11月以降は、米国大統領選挙でトランプ氏が予想外に勝利した後にいったんは下落しましたが、その後、投資家心理が落ち着きを取り戻すと上昇に転じました。また、新たなインフラ（社会基盤）・プロジェクトのニュースなどもプラス材料となりました。2017年1月以降は、米ドルの下落と米国金利の低下により資金流出懸念が後退したことから上昇し、総じて底堅い展開となりましたが、2月に入ると企業決算が不調であったことや利益確定売却圧力の高まりなどから、上値の重い展開となり、期末を迎えました。

■ 為替相場

タイ・バーツは円に対して上昇しました。

対円でのタイ・バーツ相場は、期首より、米国の利上げ時期に対する市場の思惑や日本の継続的な金融緩和政策などを背景に、方向感のない展開が続きました。2016年11月以降は、米国金利の上昇や米ドル高を受けて対米ドルでは下落しましたが、同時に大幅な円安米ドル高が進んだことから対円では上昇する展開となりました。2017年1月以降は、トランプ相場の巻き戻しから米国金利が低下したことなどをを受けて対米ドルで円が上昇しましたが、タイの経常収支が改善したことなどによってタイ・バーツも対米ドルで上昇したため、結果として対円では横ばいでの推移となりました。

前期における「今後の運用方針」

■当ファンド

ダイワ・ライジング・タイランド株式マザーファンドを高位に組み入れる方針です。

■ダイワ・ライジング・タイランド株式マザーファンド

インフラ整備に対する投資の促進、所得水準の向上に伴う個人消費の拡大、製造業の集積による輸出の拡大見通しを背景とした、中長期的なタイ経済の高成長を享受することをめざして運用を行なってまいります。業種では、政府の大規模インフラ整備計画から中長期的な恩恵が期待される建設企業に加え、観光客増加の恩恵を受ける観光関連産業、国内景気の回復から中長期的に恩恵を受けると考えられる金融などに注目していきます。

ポートフォリオについて

(2016. 8. 30 ~ 2017. 2. 27)

■当ファンド

期を通じてダイワ・ライジング・タイランド株式マザーファンドを高位に組み入れました。

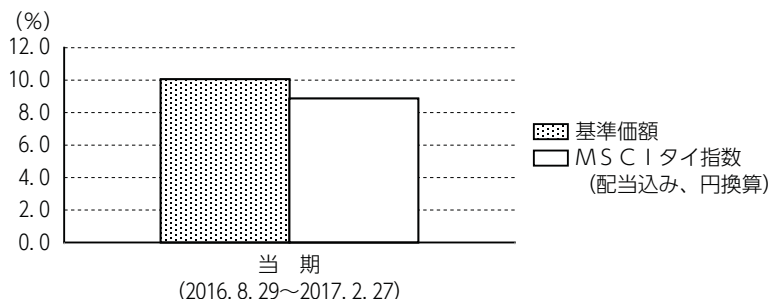
■ダイワ・ライジング・タイランド株式マザーファンド

タイ株式の中から、中長期的に高い利益成長が期待できる銘柄に分散投資を行ないました。業種では、国内景気の回復から中長期的に恩恵を受けると考えられ、不良債権の減少によって資産の質に改善の兆しが見られる金融や、石油価格の上昇から恩恵を受けることができるエネルギーなどを組入上位としました。個別銘柄では、資産の質の改善が他の商業銀行に比べて進んでいる TMB BANK（金融）や、農家収入の向上から恩恵を受けることができる ROBINSON DEPARTMENT STORE（一般消費財・サービス）などの組入比率を高めました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。参考指数はタイ株式市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。



分配金について

当期の1万口当り分配金（税込み）は100円といたしました。

収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

| 項 目 | 当 期 | |
|------------|-------------|--------------|
| | 2016年 8月30日 | ～2017年 2月27日 |
| 当期分配金（税込み） | (円) | 100 |
| 対基準価額比率 | (%) | 0.98 |
| 当期の収益 | (円) | 53 |
| 当期の収益以外 | (円) | 46 |
| 翌期繰越分配対象額 | (円) | 1,116 |

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

収益分配金の計算過程（1万口当り）

| 項 目 | 当 期 |
|-----------------------------|----------|
| (a) 経費控除後の配当等収益 | 53.02円 |
| (b) 経費控除後の有価証券売買等損益 | 0.00 |
| (c) 収益調整金 | 144.31 |
| (d) 分配準備積立金 | 1,019.43 |
| (e) 当期分配対象額 (a + b + c + d) | 1,216.77 |
| (f) 分配金 | 100.00 |
| (g) 翌期繰越分配対象額 (e - f) | 1,116.77 |

(注) 下線を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

ダイワ・ライジング・タイランド株式マザーファンドを高位に組み入れる方針です。

■ダイワ・ライジング・タイランド株式マザーファンド

インフラ整備に対する投資の促進、所得水準の向上に伴う個人消費の拡大、製造業の集積による輸出の拡大見通しを背景とした、中長期的なタイ経済の高成長を享受することをめざして運用を行なってまいります。業種では、服喪期間後に改善の兆しが見られ、農家収入の向上から恩恵を受けることができる一般消費財・サービスや、不良債権が減少し、資産の質が改善している自動車ローン関連企業、業績が好調な消費者金融企業などに注目していきます。

1 万口当りの費用の明細

| 項 目 | 当 期 (2016. 8. 30~2017. 2. 27) | | 項 目 の 概 要 |
|---------------|----------------------------------|----------|--|
| | 金 額 | 比 率 | |
| 信 託 報 酬 | 85円 | 0. 888% | 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は9, 556円です。 |
| (投 信 会 社) | (41) | (0. 431) | 投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価 |
| (販 売 会 社) | (41) | (0. 431) | 販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 |
| (受 託 銀 行) | (3) | (0. 027) | 受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価 |
| 売 買 委 託 手 数 料 | 62 | 0. 650 | 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料 |
| (株 式) | (62) | (0. 650) | |
| 有 価 証 券 取 引 税 | 1 | 0. 015 | 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金 |
| (株 式) | (1) | (0. 015) | |
| そ の 他 費 用 | 9 | 0. 094 | その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 |
| (保 管 費 用) | (9) | (0. 091) | 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用 |
| (監 査 費 用) | (0) | (0. 003) | 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 |
| 合 計 | 157 | 1. 647 | |

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

ダイワ・ライジング・タイランド株式ファンド

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2016年8月30日から2017年2月27日まで)

| | 設 定 | | 解 約 | |
|--------------------------|-----|-----|-----------|-----------|
| | □ 数 | 金 額 | □ 数 | 金 額 |
| | 千口 | 千円 | 千口 | 千円 |
| ダイワ・ライジング・タイランド株式マザーファンド | — | — | 2,123,952 | 2,320,000 |

(注) 単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2016年8月30日から2017年2月27日まで)

| 項 目 | 当 期 |
|---------------------|--------------------------|
| | ダイワ・ライジング・タイランド株式マザーファンド |
| (a) 期中の株式売買金額 | 16,992,074千円 |
| (b) 期中の平均組入株式時価総額 | 8,208,646千円 |
| (c) 売買高比率 (a) / (b) | 2.07 |

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

当期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

| 種 類 | 期 首 | | 当 期 末 | |
|--------------------------|-----------|-----------|-----------|-------|
| | □ 数 | □ 数 | □ 数 | 評 価 額 |
| | 千口 | 千口 | 千口 | 千円 |
| ダイワ・ライジング・タイランド株式マザーファンド | 8,831,647 | 6,707,694 | 7,852,698 | |

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2017年2月27日現在

| 項 目 | 当 期 末 | |
|--------------------------|-----------|-------|
| | 評 価 額 | 比 率 |
| | 千円 | % |
| ダイワ・ライジング・タイランド株式マザーファンド | 7,852,698 | 96.6 |
| コール・ローン等、その他 | 274,651 | 3.4 |
| 投資信託財産総額 | 8,127,350 | 100.0 |

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、2月27日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝112.18円、1タイ・バーツ＝3.22円です。

(注3) ダイワ・ライジング・タイランド株式マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(7,722,448千円)の投資信託財産総額(8,184,850千円)に対する比率は、94.4%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2017年2月27日現在

| 項 目 | 当 期 末 |
|-------------------------------|----------------|
| (A) 資産 | 8,127,350,230円 |
| コール・ローン等 | 114,651,962 |
| ダイワ・ライジング・タイランド株式マザーファンド(評価額) | 7,852,698,268 |
| 未収入金 | 160,000,000 |
| (B) 負債 | 195,441,216 |
| 未払収益分配金 | 78,458,219 |
| 未払解約金 | 41,218,128 |
| 未払信託報酬 | 75,536,063 |
| その他未払費用 | 228,806 |
| (C) 純資産総額(A-B) | 7,931,909,014 |
| 元本 | 7,845,821,965 |
| 次期繰越損益金 | 86,087,049 |
| (D) 受益権総口数 | 7,845,821,965口 |
| 1万口当り基準価額(C/D) | 10,110円 |

* 期首における元本額は10,079,863,354円、当期中における追加設定元本額は15,213,956円、同解約元本額は2,249,255,345円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,110円です。

■損益の状況

当期 自2016年8月30日 至2017年2月27日

| 項 目 | 当 期 |
|------------------|---------------|
| (A) 配当等収益 | △ 19,218円 |
| 受取利息 | 2,112 |
| 支払利息 | △ 21,330 |
| (B) 有価証券売買損益 | 807,536,196 |
| 売買益 | 927,557,547 |
| 売買損 | △ 120,021,351 |
| (C) 信託報酬等 | △ 75,764,869 |
| (D) 当期損益金(A+B+C) | 731,752,109 |
| (E) 前期繰越損益金 | △ 680,435,853 |
| (F) 追加信託差損益金 | 113,229,012 |
| (配当等相当額) | (50,907,430) |
| (売買損益相当額) | (62,321,582) |
| (G) 合計(D+E+F) | 164,545,268 |
| (H) 収益分配金 | △ 78,458,219 |
| 次期繰越損益金(G+H) | 86,087,049 |
| 追加信託差損益金 | 113,229,012 |
| (配当等相当額) | (50,907,430) |
| (売買損益相当額) | (62,321,582) |
| 分配準備積立金 | 762,974,832 |
| 繰越損益金 | △ 790,116,795 |

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は10ページの「収益分配金の計算過程(総額)」の表をご参照ください。

(注4) 投資信託財産(親投資信託)の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用:20,219,385円(未監査)

■収益分配金の計算過程（総額）

| 項 目 | 当 期 |
|-----------------------|----------------|
| (a) 経費控除後の配当等収益 | 41,603,415円 |
| (b) 経費控除後の有価証券売買等損益 | 0 |
| (c) 収益調整金 | 113,229,012 |
| (d) 分配準備積立金 | 799,829,636 |
| (e) 当期分配対象額 (a+b+c+d) | 954,662,063 |
| (f) 分配金 | 78,458,219 |
| (g) 翌期繰越分配対象額 (e-f) | 876,203,844 |
| (h) 受益権総口数 | 7,845,821,965口 |

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ

1 万 口 当 り 分 配 金

100円

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、2月27日現在の基準価額（1万口当り10,110円）に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

ダイワ・ライジング・タイランド株式マザーファンド

運用報告書 第8期 (決算日 2017年2月27日)

(計算期間 2016年8月30日～2017年2月27日)

ダイワ・ライジング・タイランド株式マザーファンドの第8期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

| | |
|--------|---|
| 運用方針 | 信託財産の成長をめざして運用を行ないます。 |
| 主要投資対象 | タイ企業の株式 (DR (預託証券) を含みます。以下同じ。) |
| 運用方法 | <p>①主として、輸出や投資、消費の拡大に注目して、タイ企業の株式に投資し、値上がり益の獲得を追求することにより、信託財産の成長をめざします。</p> <p>②ポートフォリオの構築にあたっては、次の方針で行なうことを基本とします。</p> <p>イ. 時価総額や流動性等を勘案して投資対象銘柄を選定します。</p> <p>ロ. 投資対象銘柄について、ボトムアップ・アプローチに基づいて個別企業の分析を行ない、次の銘柄を組入候補銘柄として選定します。</p> <p> i. 高い利益成長が期待できる銘柄</p> <p> ii. 収益力等に対して株価が割安と判断される銘柄</p> <p>ハ. 株価バリュエーション、業種分散、銘柄分散等を勘案し、ポートフォリオを構築します。</p> <p>③外貨建資産の運用にあたっては、ダイワ・アセット・マネジメント (シンガポール) リミテッドに運用の指図にかかる権限の一部を委託します。</p> <p>④株式の組入比率は、通常の状態では信託財産の純資産総額の80%程度以上に維持することを基本とします。</p> <p>⑤為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。</p> |
| 株式組入制限 | 無制限 |

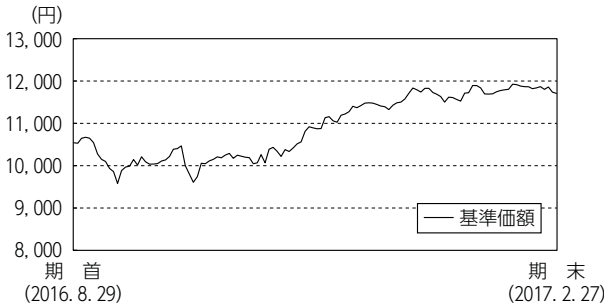
大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当期中の基準価額と市況の推移



| 年 月 日 | 基準価額 | | MSCIタイ指数 (配当込み、円換算) | | 株式組入 比率 | 株式先物 比率 |
|-----------------|--------|------|------------------------|------|------------|------------|
| | 円 | % | (参考指数) | % | | |
| (期首) 2016年8月29日 | 10,539 | — | 10,757 | — | 92.7 | — |
| 8月末 | 10,646 | 1.0 | 10,829 | 0.7 | 94.6 | — |
| 9月末 | 10,108 | △4.1 | 10,286 | △4.4 | 95.6 | — |
| 10月末 | 10,223 | △3.0 | 10,402 | △3.3 | 95.9 | — |
| 11月末 | 10,875 | 3.2 | 10,874 | 1.1 | 95.5 | — |
| 12月末 | 11,575 | 9.8 | 11,563 | 7.5 | 96.5 | — |
| 2017年1月末 | 11,837 | 12.3 | 11,902 | 10.6 | 94.2 | — |
| (期末) 2017年2月27日 | 11,707 | 11.1 | 11,711 | 8.9 | 97.0 | — |

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) MSCIタイ指数 (配当込み、円換算) は、MSCI Inc. の承諾を得て、MSCIタイ指数 (配当込み、タイ・パーツベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。MSCIタイ指数 (配当込み、タイ・パーツベース) は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。またMSCI Inc. は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,539円 期末：11,707円 騰落率：11.1%

【基準価額の主な変動要因】

タイ株式に投資した結果、米大統領選挙後の投資家心理の改善や新興国からの資金流出懸念の後退などがプラス要因となりました。為替についても、米国金利の上昇や米ドル高を受けて円安タイ・パーツ高が進んだことがプラス要因となりました。これらの結果、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆投資環境について

○タイ株式市況

タイ株式市況は上昇しました。

タイ株式市況は、期首より、米国の利上げや国王の健康状態への懸念を受けた利益確定の売却により下落して始めました。2016年9月中旬には底値買いの動きから反発しましたが、10月に入ると国王の健康状態への懸念が再び高まり急落しました。国王が崩御した後は、心配されていた混乱はなく、服喪期間中の消費減少も想定されていたほど深刻にはならないとの見方により、急速に買い戻されました。11月以降は、米大統領選挙でトランプ氏が予想外に勝利した後にいったんは下落しましたが、その後、投資家心理が落ち着きを取り戻すと上昇に転じました。また、新たなインフラ (社会基盤)・プロジェクトのニュースなどもプラス材料となりました。2017年1月以降は、米ドルの下落と米国金利の低下により資金流出懸念が後退したことから上昇し、総じて底堅い展開となりましたが、2月に入ると企業決算が不調であったことや利益確定売却圧力の高まりなどから、上値の重い展開となり、期末を迎えました。

○為替相場

タイ・パーツは円に対して上昇しました。

対円でのタイ・パーツ相場は、期首より、米国の利上げ時期に対する市場の思惑や日本の継続的な金融緩和政策などを背景に、方向感のない展開が続きました。2016年11月以降は、米国金利の上昇や米ドル高を受けて対米ドルでは下落しましたが、同時に大幅な円安米ドル高が進んだことから対円では上昇する展開となりました。2017年1月以降は、トランプ相場の巻き戻しから米国金利が低下したことを受けて対米ドルで円が上昇しましたが、タイの経常収支が改善したことなどによってタイ・パーツも対米ドルで上昇したため、結果として対円では横ばいでの推移となりました。

◆前期における「今後の運用方針」

インフラ整備に対する投資の促進、所得水準の向上に伴う個人消費の拡大、製造業の集積による輸出の拡大見通しを背景とした、中長期的なタイ経済の高成長を享受することをめざして運用を行ってまいります。業種では、政府の大規模インフラ整備計画から中長期的な恩恵が期待される建設企業に加え、観光客増加の恩恵を受ける観光関連産業、国内景気の回復から中長期的に恩恵を受けると考えられる金融などに注目していきます。

◆ポートフォリオについて

タイ株式の中から、中長期的に高い利益成長が期待できる銘柄に分散投資を行ないました。業種では、国内景気の回復から中長期的に恩恵を受けると考えられ、不良債権の減少によって資産の質に改善の兆しが見られる金融や、石油価格の上昇から恩恵を受けることができるエネルギーなどを組入上位としました。個別銘柄では、資産の質の改善が他の商業銀行に比べて進んでいるTMB BANK (金融) や、農家収入の向上から恩恵を受けることができるROBINSON DEPARTMENT STORE (一般消費財・サービス) などの組入比率を高めました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当期中の基準価額と市況の推移」をご参照ください。

《今後の運用方針》

インフラ整備に対する投資の促進、所得水準の向上に伴う個人消費の拡大、製造業の集積による輸出の拡大見通しを背景とした、中長期的なタイ経済の高成長を享受することをめざして運用を行なってまいります。業種では、服喪期間後に改善の兆しが見られ、農家収入の向上から恩恵を受けることができる一般消費財・サービスや、不良債権が減少し、資産の質が改善している自動車ローン関連企業、業績が好調な消費者金融企業などに注目していきます。

■売買および取引の状況

株 式

(2016年8月30日から2017年2月27日まで)

| | | 買 付 | | 売 付 | |
|-----|----|-----------------------|------------------|-------------|-----------|
| | | 株 数 | 金 額 | 株 数 | 金 額 |
| 外 国 | タイ | 百株 | 千タイ・パーツ | 百株 | 千タイ・パーツ |
| | | 1,248,780 (26,559) | 2,480,894 (—) | 1,385,480.6 | 3,063,374 |

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) ()内は株式分割、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■1万口当りの費用の明細

| 項 目 | 当 期 |
|-----------------|-------------|
| 売買委託手数料 (株式) | 71円 (71) |
| 有価証券取引税 (株式) | 2 (2) |
| その他費用 (保管費用) | 10 (10) |
| 合 計 | 83 |

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

■主要な売買銘柄

株 式

(2016年8月30日から2017年2月27日まで)

| 銘 柄 | 当 期 | | | 期 | | | |
|-----------------------------------|--------|---------|-------|-----------------------------------|----------|---------|------|
| | 株 数 | 金 額 | 平均単価 | 銘 柄 | 株 数 | 金 額 | 平均単価 |
| SIAM COMMERCIAL BANK-FOREIGN (タイ) | 1,446 | 692,062 | 478 | SIAM COMMERCIAL BANK-FOREIGN (タイ) | 1,500 | 680,037 | 453 |
| ADVANCED INFO SERVICE-FOR RG (タイ) | 1,200 | 568,300 | 473 | CP ALL PCL-FOREIGN (タイ) | 2,830 | 519,755 | 183 |
| KASIKORNBANK PCL-NVDR (タイ) | 890 | 513,452 | 576 | KASIKORNBANK PCL-NVDR (タイ) | 890 | 495,853 | 557 |
| CP ALL PCL-FOREIGN (タイ) | 2,400 | 464,311 | 193 | ADVANCED INFO SERVICE-FOR RG (タイ) | 1,020 | 478,324 | 468 |
| KRUNGTHAI CARD PCL-FOREIGN (タイ) | 1,025 | 421,439 | 411 | PTT EXPLORATION & PROD-FOR (タイ) | 1,777 | 440,956 | 248 |
| ROBINSON DEPT STORE PCL-FOR (タイ) | 2,400 | 410,603 | 171 | AIRPORTS OF THAILAND PCL-FOR (タイ) | 913 | 431,891 | 473 |
| PTT GLOBAL CHEMICAL PCL-FOR (タイ) | 2,050 | 389,461 | 189 | KRUNGTHAI CARD PCL-FOREIGN (タイ) | 933.6 | 393,515 | 421 |
| TMB BANK PUBLIC CORP-FOREIGN (タイ) | 51,000 | 357,561 | 7 | BANGKOK DUSIT MED SERVICE-F (タイ) | 5,600 | 378,299 | 67 |
| PTT EXPLORATION & PROD-FOR (タイ) | 1,350 | 346,279 | 256 | KCE ELECTRONICS PCL-FOREIGN (タイ) | 1,040 | 341,820 | 328 |
| SIAM CEMENT PCL-NVDR (タイ) | 190 | 291,347 | 1,533 | WORKPOINT ENTERTAINMENT-FOR (タイ) | 3,157.66 | 340,405 | 107 |

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■組入資産明細表
外国株式

| 銘柄 | 期首 | | 当期末 | | 業種等 |
|------------------------------|---------|---------|---------|---------|---------|
| | 株数 | 株数 | 評価額 | | |
| | | | 外貨建金額 | 邦貨換算金額 | |
| | 百株 | 百株 | 千タイ・パーツ | 千円 | |
| (タイ) | | | | | |
| SEAFECO PCL-FOREIGN REG | 63,559 | 48,559 | 53,900 | 173,559 | 貸付・サービス |
| MUANGTHAI LEASING PCL-F | — | 26,722 | 80,166 | 258,134 | 金融 |
| SIAM CEMENT PCL-NVDR | 650 | 1,550 | 80,600 | 259,532 | 素材 |
| SIAM CITY CEMENT PCL-FOR | 500 | — | — | — | 素材 |
| TMB BANK PUBLIC CORP-FOREIGN | 260,000 | 510,000 | 123,420 | 397,412 | 金融 |
| BUMRUNGRAD HOSPITAL-FOREIGN | — | 1,410 | 25,521 | 82,177 | ヘルスケア |
| KCE ELECTRONICS PCL-FOREIGN | 5,316 | 2,416 | 24,401 | 78,573 | 情報技術 |
| SVI PCL-FOREIGN SHARE | 54,540 | — | — | — | 情報技術 |
| KASIKORN BANK PCL-NVDR | 12,600 | 12,600 | 238,770 | 768,839 | 金融 |
| SIAM COMMERCIAL BANK-FOREIGN | 8,704 | 8,164 | 124,909 | 402,207 | 金融 |
| TISCO FINANCIAL GROUP-NVDR | 19,079 | 11,739 | 78,651 | 253,257 | 金融 |
| THAI NAKARIN HOSPITAL PCL-FO | 14,776 | 3,746 | 14,047 | 45,232 | ヘルスケア |
| BANGKOK EXPRESSWAY AND METRO | 40,000 | — | — | — | 貸付・サービス |
| STAR PETROLEUM REFINING PCL | — | 20,000 | 26,600 | 85,652 | その他 |
| LADPRAO GENERAL HOSPITAL-F | 2,672 | — | — | — | ヘルスケア |
| SRIVICHAI VEJVIVAT/FOREIGN | 62,798 | 8,305 | 9,135 | 29,416 | ヘルスケア |
| M. C. S. STEEL PCL-FOREIGN | 39,814 | — | — | — | 素材 |
| KRUNG THAI BANK PUB CO-FOREI | 30,000 | — | — | — | 金融 |
| BANGKOK CHAIN HOSPITAL-FOREG | — | 20,000 | 27,200 | 87,584 | ヘルスケア |
| ADVANCED INFO SERVICE-FOR RG | 5,060 | 6,860 | 116,963 | 376,620 | 電通サービス |
| ROBINSON DEPT STORE PCL-FOR | — | 18,000 | 110,700 | 356,454 | 貸付・サービス |
| CHAROEN POKPHAND FOOD-FORGN | 10,000 | — | — | — | 生活必需品 |
| MINOR INTERNATIONAL PCL-FOR | — | 18,500 | 62,900 | 202,538 | 貸付・サービス |
| BANPU PUBLIC CO LTD-FOR REG | — | 8,000 | 15,600 | 50,232 | エネルギー |
| SRISAWAD POWER 1979 PCL-F | — | 5,000 | 21,875 | 70,437 | 金融 |
| KIATNAKIN BANK PCL-FOR | 2,851 | — | — | — | 金融 |
| BANGKOK DJUST MED SERVICE-F | 30,000 | — | — | — | ヘルスケア |
| PTT EXPLORATION & PROD-FOR | 13,270 | 9,000 | 83,025 | 267,340 | エネルギー |
| THANACHART CAPITAL-FOREIGN | 17,900 | 5,900 | 28,172 | 90,715 | 金融 |
| IRPC PCL - FOREIGN | 150,000 | 92,000 | 47,840 | 154,044 | エネルギー |
| PYLON PCL-FOREIGN | 38,487 | — | — | — | 貸付・サービス |
| CH. KARNCHANG PUB CO-FORGN | 10,000 | — | — | — | 貸付・サービス |
| QUALITY HOUSE PCL-FOREIGN | 95,349 | 155,349 | 40,701 | 131,058 | 不動産 |
| PTT PCL/FOREIGN | 7,310 | 7,130 | 284,487 | 916,048 | エネルギー |
| THAI OIL PCL-FOREIGN | — | 3,300 | 25,657 | 82,617 | エネルギー |
| CP ALL PCL-FOREIGN | 42,786 | 38,486 | 229,953 | 740,451 | 生活必需品 |
| AP THAILAND PCL-FOREIGN | 58,000 | — | — | — | 不動産 |
| AP THAILAND PCL - NVDR | — | 23,766 | 17,230 | 55,481 | 不動産 |
| AIRPORTS OF THAILAND PCL-FOR | 6,081 | 23,510 | 91,101 | 293,346 | 貸付・サービス |
| CENTRAL PATTANA PUB CO-FOREI | 5,935 | 5,935 | 32,790 | 105,586 | 不動産 |
| CENTRAL PATTANA PCL-NVDR | 11,500 | — | — | — | 不動産 |
| BANGKOK BANK PUBLIC CO-NVDR | 5,000 | — | — | — | 金融 |

| 銘柄 | 期首 | | 当期末 | | 業種等 |
|------------------------------|----------|-------------|-----------|-----------|-----------|
| | 株数 | 株数 | 評価額 | | |
| | | | 外貨建金額 | 邦貨換算金額 | |
| | 百株 | 百株 | 千タイ・パーツ | 千円 | |
| SOMBOON ADV TECH - FOREIGN | 31,053 | — | — | — | 一般貸付・サービス |
| PTT GLOBAL CHEMICAL PCL-FOR | 16,800 | 20,500 | 150,162 | 483,523 | 素材 |
| UNIQUE ENGINEERING & CO-FORE | 6,787 | — | — | — | 貸付・サービス |
| WORKPOINT ENTERTAINMENT-FOR | 18,311.6 | — | — | — | その他 |
| KARMARTS PCL-FOREIGN | 37,932 | — | — | — | 生活必需品 |
| KRUNGTHAI CARD PCL-FOREIGN | 964 | 1,878 | 24,789 | 79,822 | 金融 |
| MK RESTAURANTS GROUP-FOREIGN | 10,710 | 8,628 | 50,258 | 161,831 | 一般貸付・サービス |
| ENERGY ABSOLUTE PCL-FOREIGN | — | 10,000 | 24,600 | 79,212 | エネルギー |
| ファンド | 株数、金額 | 1,247,094.6 | 1,136,953 | 2,366,130 | 7,618,940 |
| 合計 | 銘柄数<比率> | 39銘柄 | 32銘柄 | <97.0%> | |

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2017年2月27日現在

| 項目 | 当期末 | |
|--------------|-----------|-------|
| | 評価額 | 比率 |
| | 千円 | % |
| 株式 | 7,618,940 | 93.1 |
| コール・ローン等、その他 | 565,909 | 6.9 |
| 投資信託財産総額 | 8,184,850 | 100.0 |

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、2月27日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=112.18円、1タイ・パーツ=3.22円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産(7,722,448千円)の投資信託財産総額(8,184,850千円)に対する比率は、94.4%です。

ダイワ・ライジング・タイランド株式マザーファンド

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2017年2月27日現在

| 項 目 | 当 期 末 |
|--------------------------|-----------------------|
| (A) 資産 | 8,264,041,601円 |
| コール・ローン等 | 305,336,151 |
| 株式(評価額) | 7,618,940,381 |
| 未収入金 | 331,071,069 |
| 未取配当金 | 8,694,000 |
| (B) 負債 | 411,382,542 |
| 未払金 | 251,382,542 |
| 未払解約金 | 160,000,000 |
| (C) 純資産総額 (A - B) | 7,852,659,059 |
| 元本 | 6,707,694,771 |
| 次期繰越損益金 | 1,144,964,288 |
| (D) 受益権総口数 | 6,707,694,771口 |
| 1万口当り基準価額 (C/D) | 11,707円 |

* 期首における元本額は8,831,647,289円、当期中における追加設定元本額は0円、同解約元本額は2,123,952,518円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ・ライジング・タイランド株式ファンド6,707,694,771円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は11,707円です。

■損益の状況

当期 自2016年8月30日 至2017年2月27日

| 項 目 | 当 期 |
|------------------------------|----------------------|
| (A) 配当等収益 | 55,754,962円 |
| 受取配当金 | 55,858,737 |
| 受取利息 | 457 |
| 支払利息 | △ 104,232 |
| (B) 有価証券売買損益 | 817,160,211 |
| 売買益 | 1,422,123,799 |
| 売買損 | △ 604,963,588 |
| (C) その他費用 | △ 7,915,615 |
| (D) 当期損益金 (A + B + C) | 864,999,558 |
| (E) 前期繰越損益金 | 476,012,212 |
| (F) 解約差損益金 | △ 196,047,482 |
| (G) 合計 (D + E + F) | 1,144,964,288 |
| 次期繰越損益金 (G) | 1,144,964,288 |

(注) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。